

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年3月15日

事業所名 ドーユーラボ ひやごん

| | | チェック項目 | はい | どちらとも えない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|------------------------------------|--|----|--------------|---------------------------|---|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 4 | | | 適切な距離を取れるよう確保されている | 児童の状況に合わせてスペースの確保を行なっています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 4 | | | ・ゆとりを持って児童対応・送迎ができる数が配置されている ・利用人数にあった配置を行っている | 規定に沿った配置を行えるように今後も努めていきます。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 3 | | 1 | ・施設内での段差はなく、ほぼバリアフリーとなっている。 | トイレに関してはバリアフリーとはならないため、対象児童に関しては臨機応変に対応していきます。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 3 | 1 | | 業務で必要なスキルを伸ばすための目標を各職員が持っている | 業務が固定化されないように、各職員がどの業務でも行えるようにしていきます。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 4 | | | ・定期的に保護者と直接話す場を設けている ・定期的に保護者へのアンケートを実施している | 引き続き、希望・要望等があればアンケート調査を行い、業務改善につなげていきます。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 4 | | | ・ホームページにて公開している ・保護者への配布、施設のホームページで公開している | 自己評価結果はホームページで公開するとともにネット環境のないご家庭もいらっしゃるので、ご利用保護者へ紙媒体での内容報告も行なっています。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 2 | 2 | | 定期的な精神科医とのミーティングを行っている | 継続的に精神科医とのミーティングは行っています。それ以外の外部との意見も取り入れていけるように努めていきます。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 3 | 1 | | ・研修会等には参加するようにしている ・すべての職員が研修を受けられるように随時共有を行っている | 研修会等の情報を常に収集し、随時共有を行なっています。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 4 | | | 利用中での児童の様子などから本人のニーズや課題を分析し計画に落とし込むようにしている | 日々の職員間での情報共有の中から本人の課題やニーズを分析し、計画に落とし込むように進めていきます。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 3 | 1 | | 適切な様式でアセスメントを行っている | 標準化されたアセスメントツールを参考に当施設に利用する児童に沿ったアセスメントで対応していきます。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 4 | | | 毎月実施しているイベントは職員で話し合い決めている | |
| 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 4 | | | 児童の成長に合わせて内容のプログラムを用意している | 児童の状況等に合わせてプログラムの変更等を行なっています。 | |
| 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 2 | 2 | | | 長期休暇等では生産的な目標を持った活動を増やせるような取り組みを行なっています。 | |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|---------------------------------------|---|----|-----------|---|--|---|
| 適切な支援の提供 | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 4 | | | | 児童の状況等にに合わせて個別活動と集団活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成するようにしていきます。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 4 | | | ・始業時に必ず全体ミーティングを行う ・毎朝ミーティングを行っている | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 4 | | | ・その日気になったことや、送迎時に得た情報などを共有している ・業務終了前に当日の出来事気になることなどの振り返りを行っている | 基本的には、帰りの送迎後に振り返りを行っていますが、送迎等で終業時間ギリギリで戻ってくる職員もいたりするので、その際には記録への記入や翌日のミーティングにて情報共有を行うようにしていきます。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 4 | | | ・児童の活動内容や様子の記録をつけている ・毎日来所した児童の記録を記入、全職員が把握できるようにしている | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 3 | 1 | | | 児童の様子から新たなニーズや課題を把握し、必要に応じて計画の見直しが行えるように今後も努めていきます。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 3 | 1 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 3 | 1 | | 基本的には児発管が参加。今後は現場職員も同席を考えている | 児童の利用がない時間帯での会議等には直接支援職員にも同席した会議への参加を行なっていきます。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | 3 | 1 | | お迎え時など学校の担任となるべく情報交換を行うようにしている。（学校によっては担任と会えないところもある） | 学校の状況によりますが、できる限り情報共有を行えるようにしていきます。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 1 | 3 | | 対象児童なし | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 2 | 2 | | 対象児童なし | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 1 | 3 | | 対象児童なし | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 2 | 1 | 1 | 研修の機会がある際は参加している | 感染症予防の為、研修等への参加は行えていませんが、今後も研修等の情報収集を行い、参加するよう各職員へ周知共有を行なっていきます。 |
| 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 2 | 1 | 1 | ・公園で遊ぶ際には、そこにいる児童たちと交流している ・コロナ終息後に機会を持ちたい ・近くの公園などを利用して地域の子どもたちとの交流することもある | 近くの公園でよく地域の子供達とのふれあいを持っています。今後も引き続き、そのような関わりを増やせていけるようにしていきます。 | |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----------|-----|---|---|
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 1 | 2 | 1 | | 地域自立支援協議会等への参加は行えていません。積極的に参加できるようにしていきます。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 4 | | | ・LINEを利用し、保護者へ児童の様子を伝えたり、保護者からも気軽に連絡できるようにしている。 ・送迎時の保護者との会話や連絡帳LINEなどを使用して伝えるようにしている | 引き続き、連絡帳やLINE送迎時等での情報交換を行いつつ、状況や課題について共有理解に努めていきます。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている | | 2 | 2 | ペアレントトレーニングは行えていない | ペアレントトレーニングなどの情報があれば保護者へ通知できるようにしていきます。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 4 | | | 契約時に説明を行っている。また、いつでも説明ができる体制を整えている | 契約時以外でも常に説明できる体制を整えています。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 4 | | | LINEを利用し、いつでも気軽に相談ができる状況を作っている。 | お子さんへの悩みなどあれば、気軽に相談ができる環境を整えています。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 4 | | | ・定期的に保護者会を開催している。また、LINEのグループ機能で保護者同士が気軽に連絡を取れる状況を作っている。 ・定期的な保護者会を開催している(昨今、ウイルスの件もあり、オンラインにて開催をした) | 今回は、感染の影響もあり、集まったの開催はできませんでしたが、変わりにオンラインなどを利用して保護者会を行いました。一部ネット環境のないご家庭には人数を限定した上で、施設に来ていただき、対応するなどの配慮を行っています。今後も臨機応変に対応していきます。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 4 | | | ・全体に周知対応策を考えている。 ・苦情受付表を作成し、全職員が改善点や対応を閲覧できるようにしている。 ・苦情が起きた際、その状況把握、保護者への説明を行い対応している | 苦情、要望等があった際には全職員に周知、共有を行い、改善できることは迅速に対応し、その状況等を保護者へお伝えしていきます。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 4 | | | ・毎月1回、活動内容の様子がわかる写真や児童の作品を載せたりお便りを発行している。 ・月に1回の広報を保護者へ送付している | |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|----|--|----|-----------|-----|--|---|
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 4 | | | ・施錠できる棚で保管している。 ・個人情報には十分に注意し、鍵付きロッカーにて保管している | 全職員共通認識の上、個人情報を扱う際には情報漏洩など細心の注意を払い、扱うようにしていきます。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 4 | | | ・送迎中やLINE等にて情報提供している | お便りなど児童によっては私忘れてしまうこともある為、必要に応じて保護者へ直接手渡しなどを行うように配慮を行っていきます。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | 2 | 2 | ・今年度はコロナで行事開催ができなかった ・コロナ終息後に機会があれば考えたい。 ・感染防止のため、行っていない | 新型コロナウイルスの影響もありますが、感染予防に徹した上で開催できるように検討いたします。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 4 | | | ・施設内でマニュアルの提示をし、常に目の届くところで確認できるようにしている。 ・感染症等のマニュアルや取り組み等は行っており、その際にSNSや定期的に発行している広報等に載せている | できる限り会報やSNS等で周知をしているが、確認できていない保護者もいるので、普段の会話などでも周知ができるようにしていきます。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 1 | 3 | | AEDを設置し、万が一に備えている。 | 訓練を行なった際には保護者も把握ができるようにホームページやSNS等を利用して周知していきます。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 3 | 1 | | | 虐待防止に関する研修は職員が固定されないよう全職員に受けてもらえるように周知し、機会を確保していきます。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 1 | 2 | 1 | 対象児童なし | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 2 | 2 | | ・提供するおやつに注意を払っている ・アレルギーを持つ児童にはアレルギーの内容を確認しているが、医師の指示書までは確認できていない。 アレルギーがある児童にはおやつなどの提供には十分気をつけている | 食物アレルギーを持つ児童については、医師の指示書があれば提供してもらいそれに基づいた対応を行ないます。 食物アレルギーになりそうな果物などの提供等はなるべく行わないようにしていきます。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらとも えない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--|----|---------------------------|----|--------------|-----|---|------------------------------|
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 4 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・全職員が閲覧できるようにしている。 ・現場で起きた際には記録を書いてもらい、全職員にて共有している | |